



綺麗に咲いた「ミスバショウ」ようやく春が訪れました。

～南浜湿原より～

平成18年 5 月号

広報 

いしり富士

No.206

町のホームページは毎日更新されています。以下のアドレスからご覧ください。

<http://www.town.rishirifuji.hokkaido.jp/>

平成十八年度

# 町政執行方針

地方にとってはかつてない厳しい時代を迎えており、町村の行財政運営は極めて厳しい状況に追い込まれるとの危機感を払拭することができず、今日の危機的状況にあっても山積する諸課題に対応しながら、住民生活に直結する多様な行政サービスの提供を継続し、自立的で活力あるまちづくりを進展させていくことが喫緊の課題であり、町民の負託により自治体運営を預かる者として、こうした現状と将来の展望を見据えながら、町民との協働のまちづくりを基本とし、今後とも「希望に満ちたまちづくり」に向け全身全霊を傾けて町政執行にあたって参る所存であり、議員各位並びに町民皆様の特段のご支援とご協力を切にお願い申し上げます。



## 町民と協働のまちづくり

### 施策 五つの柱

- 「活力ある地域産業のまちづくり」
- 「思いやりと真心で  
安心に暮らせるまちづくり」
- 「住みよい環境を創る  
豊かなまちづくり」
- 「みんなで創る希望  
あふれるまちづくり」
- 「効率的な行政運営と  
健全財政のまちづくり」

「利尻富士町の夢をかたちに」をテーマに、「ふるさと利尻富士町のまちづくり」を目指します。

### 第一 活力ある地域産業のまちづくり

本町の基幹産業であります漁業については、昨年の生産額を組合別に見ますと、鴛泊漁協では十億六千万円、鬼脇漁協では四億七千八百万円となり、合計では前年対比九九・五%の十五億三千八百万円となりました。

漁業生産は、気温や水温・時化など厳しい自然条件に左右される部分が多々ありますが、これにひるむことなく、より積極的な資源造成と基盤の整備強化を図るべく、国・道の各種制度を最大限に活用しながら漁家経営の安定と漁業所得の向上を目指し、各関係機関と更なる連携を図って「活力に満ち、躍動する水産業」の振興を目指してまいります。

昨年からの新規事業としてスタートしました「離島漁業再生支援交付金」による、鴛泊・鬼脇両集落の事業内容については、「漁場の生産力向上に関する取り組み」

の中で、ウニ人工種苗放流、ウニ・ノナ移植放流、ヒトデ等の外敵駆除事業を行なっているほか、チェーン振り事業による雑海藻の除去を行い、荒廃漁場から優良漁場への転回を図るべく藻場の改善事業も実施しております。

港湾整備では、鴛泊港は、島と本土とを結ぶ海上交通と離島住民生活や地域産業にとって重要な拠点となっておりますが、以前より一五・五m岸壁（RORO船側の岸壁）の静穏度が悪いことから、防波堤（島）の整備工事が進められており、十八年度では防波堤（島）一五〇メートルの上部工・消波工、また、防波堤（南外）の陸側延伸についても、ケーソン二函の製作が予定されています。

鬼脇港では、一昨年の台風十八号の際、想像を超える高波と異状潮位により係留していた漁船にも被害が発生しており、南防波堤の機能向上が望まれていました。このため越波、静穏対策として嵩上げ改良二一〇m・仮設堤の本設置（二六〇m）・堤頭処理（先端の灯台設置）が予定されており、これが整備により港内静穏度の確保が一層図られるものと思っております。



漁港については、南浜漁港の外防波堤一五mの施工が継続されているほか、新たに本泊漁港（大磯分港含む）が公共での整備が決まり、船揚場改良（本泊）、南護岸新設（大磯）が行なわれるなど、今まで審議会で要望のあった事項について順次整備が進められます。「漁業と観光の連携」の関係では、沿岸に來遊する「サケ」を観光資源として活用する構想や春先の間引きされる養殖昆布を食材としての利用など具体的且つ活発な動きも出てきており、「利尻富士ブランド」として発展・定着する可能性も秘めています。

しかし、昨年来から続く原油価格の高騰から、漁船用燃油（重油等）に大きく影響が出て漁業経営の深刻な問題ともなっておりますが、本町漁業を希望の持てる産業とすべく、これら施策を積極的に展開し「水産資源の適切な保存・管理」「つくり育てる漁業の推進」「水産基盤の整備・充実」を図りながら、漁家経営の強化と安全操業の確立、漁業所得の向上を推進し、より良い環境を次世代に引き継ぐため誠心誠意努力いたします。次に、観光産業では、平成十七年度の観光客の入り込みでは、二年連続で前年度の実績を下回ることで確実な情勢となっております。その主な要因としては、愛知万博の開催や知床の世界自然遺産登録、旭山動物園人気による影響を受けたことが推測されますが、幸にも利尻礼文は、旅行雑誌等のアンケート調査では道外・道内を問わず「もう一度行きたい道内旅行先」「今後行ってみたい道内旅行先」として常に上位にランクされることから、まだまだ人気が高いことは確かであり、受け入れ体制の強化やPRの仕方によっては、今後に期待が持てるものと考えており

ますし、本年度からは観光リーフレットを利尻町と共同作成し、利尻島をより強力にPRするほか、北宗谷地域の多くの民間団体が参加して進められている「宗谷シーニックバイウェイ」にも大いに期待しているところであります。今年の観光については、現在の予約状況から判断すると大幅な伸びは期待できないものの、昨年以上の入込みを確保するため、関係団体とより一層連携を密接にし、基本に立ち返り多くの方々に満足していただけるような体制づくりを努めて参りたいと考えています。自然環境の保全については、昨年六月に当町及び利尻町を中心に多くの関係団体のご理解のもと、「利尻山登山道等維持管理連絡協議会」を設立いたしました。現在、山岳関係専門の大学教授や民間コンサルによる現地調査のほか、現地検討会や意見交換会を開催し、これからの利尻山の登山のあり方について検討を重ねているところでありますが、十八年度中には個別ルート of 工法を決定し、十九年度に実施計画、それ以降に実施設計・施工というスケジュールになっています。

「健康と癒し」をテーマとしたアメニティパーク整備事業については、利尻島ファミリーキャンプ場「ゆーに」が昨年五月にオープンし、コテージ、バンガローをはじめフリーテントサイト、バーベキューコーナーなど、充実した施設は多くの利用者の皆様から好評を得ているほか、九月には町民待望の温泉利用型運動施設、温泉プール「湯泳館」がオープンしました。町民の健康増進の場として、多くの方々に利用されておりますが、本年からは観光客の方にも利用していただくため、水着、キャンプ、ゴーグルの貸し出しを行い、より多くの方に楽しんでいただけるものと期待しております。次に、商工業の振興についてですが、本町の経済は、水産と観光の二本柱を中心として商工業が成り立っていると考えています。昨年は水産業ではほぼ横ばいでしたが、観光産業についてはやや減少しており、ここ数年厳しい状況が続いていることは否めません。しかし、商工業の活性化を図るためには、地元購買力の底上げが必要不可欠であり、そのためには企業個々が的確な現状分析を行い

ながら、創意工夫を凝らした経営に努める必要があると考えており、一層の自助努力が必要であると思っております。このため、行政としての役割は商店街の活性化の喚起である「駕泊市街地のまちづくり」のための道々拡幅の早期着工は欠かすことができませんので、地域はもちろん商工会、商店会と一体となつて早期着工できるように関係機関への運動を強力に展開していきたいと考えております。

## 第一 思いやりと真心で安心に暮らすまちづくり

利尻富士町の人口は、一月末現在三、一二人で、六十五歳以上の高齢化率は三四・六%と高い数値を示しておりますが、老人医療費や介護保険給付費から推察すると、健康寿命が延びているものと思われまます。

しかしながら、若いお母さん方を始め、乳幼児、児童生徒そして障害者や高齢者の皆さんが安心して暮らせる町となるためには、福祉施策を充実させ、「健康づくり計画」に基づいた保健活動による支援や介護保険制度の利用拡充、そして医療受診に臨み、これらが連

携のとれた一体となった町づくりに万全を期していくことが行政に課せられた使命であると考えています。

母子保健事業では、妊婦の訪問活動、乳幼児の健康診査、思春期教育、栄養相談、学童の健康、食育、育児支援事業等を医療機関等の協力を頂きながら実施して参ります。また、予防接種事業は、インフルエンザをはじめ乳幼児の各種接種を駕泊・鬼脇両診療所に、健診事業では春・秋のすこやか健診を札幌複十字総合健診センター、乳がん・子宮がん検診は対がん協会、喉頭がん検診は名寄市の吉田病院、結核健診は札幌複十字総合健診センターが実施いたします。訪問指導事業は、成人・特定疾患・精神障害者を対象に実施するとともに、栄養相談を栄養士、食生活改善協議会、保健福祉推進員と連携を取りながら個別に巡回して実施いたします。

温泉プールは昨年九月の開業時から、アクアビクス、水中ウォーキング等の各教室を開設して町民の参加を頂いておりますが、インストラクター講座により資格を取得された方々には、リーダーとし



温泉プール水泳教室

て温泉プールの運営にご協力を願うとともに、利用者の拡大にもご尽力を賜りたく、官民を上げて健康づくりを進めて参りたいと思っております。さらに本年度は、保健師一名に水中運動指導の資格を取得させ、指導体制の充実とともに生活習慣病の予防及び介護予防の強化を図って参ります。

平成十七年度から五ヶ年事業として国の全額補助で実施しているヘルスアップ事業は、肥満症に起因する高血圧、糖尿病等を改善するため生活習慣病の予防対策を目的として、調査票の作成や健診結果とレセプトの分析、個別支援プ

ログラムとして運動教室の開催と評価分析などを国民健康保険事業の中で実施して参ります。

児童手当は平成十六年に小学校三年生までに拡大されましたが、さらに国の少子化対策の一環として本年四月から小学校卒業前までに改正されましたのでこれを実施します。

障害者関係では、障害者自立支援法が四月から施行され、育成・更生医療及び精神通院公費が自立支援医療として一本化になりますので、十月から当町の母子通園センターが子ども発達支援センターとして障害福祉の児童デイサービスを提供する事業所になります。また、福祉関係では敬老年金の対象者を本年度からは七十五歳以上で五歳毎を対象として一百万円の祝い金、満百歳は十百万円の褒賞金とすることといたしましたのでご理解を賜りたいと思ひます。

使用料・手数料の見直しでは、保育料を国の徴収基準額の七〇%を目標に計画的に引上げてきましたが、これを八〇%に変更して再度計画的に進めて行きたいと思っております。

結核健診については無料で実施

しておりましたが、結核予防法で定められている六十五歳以上の方以外は、検査料の三割相当額二百円を徴収したいと考えております。火葬場や霊柩車使用料は、長い間据置していることから管内、道内の状況を勘案して引上げすることになりました。

老人バスの有料化については、利尻町を始め全道的にも数多く導入していますが、医療費や介護保険等の負担増を考えると時期尚早の感があり、実施には検討を要するものと思っております。医療費扶助の町単独事業のうち、ひとり親家庭の親の通院は助成の対象外とし、北海道給付事業との整合性を図りたいと思えます。

社会福祉協議会が実施していた訪問介護事業は、昨年十二月から(株)コムスンと委託業務契約を締結して一部助成をしておりますが、今後の他の介護部門への拡大にも期待しながら推移を見守っていきたいと考えております。

介護保険事業については、四月から第三期介護保険計画が始まり制度改正となる新予防給付と地域支援事業の創設、保険給付費の推計、これに伴う第一号保険料の見

直しをまとめ、計画策定委員会に諮問し答申を頂きました。

基準保険料は、現在月額三千五百円となり見直し後は四千六十六円とありますが、積立準備基金を活用して三千九百四十円(△三・一%)に減額した介護保険料とすることといたしました。これにより次期三年間と合わせ六年間は急激な引上げは抑制できるものと思っておりますし、負担能力に大きな格差がある段階は、細分化し負担能力の低い所得階層には、より低い保険料を設定して配慮いたしました。

国民健康保険事業の医療費分の



フッ素健診

税については、十六、十七年度と減税を実施いたしました。本年度は医療費の実績と所得状況を見極めながら税率を検討し、急激な引上げにならないよう極力努力していきたいと思っております。

駕泊診療所については、四月から薬剤処方方を院外処方とすることにいたしました。これは、患者数の減少等により苦しい経営状況が続いていることから、経費の節減を図り健全経営を考慮し、実施していきます。

特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、利尻島老人保健施設については、国の制度改正によるサービスマン収入の減少や、自己負担の増など利用者にとっては重荷となってきたことから、介護サービスマンの向上を図るためデイサービス提供時間を、これまでの四六時間(六時～八時)に延長して実施するほか、適切なケアプランのもと施設職員の心のこもったサービスマンを提供してまいります。

### 第三 住みよい環境を創る 豊かなまちづくり

町民が豊かで安心のできる住民生活の実現と経済、社会活動の活

性を図る上で必要不可欠な道路網の整備や冬季の交通確保などは、より一層の充実が必要であると考えます。

駕泊市街地の道々拡幅事業については、平成二十年度の本事業化に向け平成十八年度から十九年度の二年間で地方特定道路事業として、路線測量・実施設計・用地確定測量・補償物件調査・地質調査・埋蔵文化財調査・構造物設計など一連の測量試験を行い、平行して十八年度で大規模審査を受けるべく慎重に協議を重ねております。

今年度からは、土木現業所も同席した地域住民に対する現地懇談会等の開催も始まることになっておりますので、本町としましても関係機関とも連携を取りながら、長期的な視点に立った総合的で一体感のある駕泊市街地まちづくり計画書を策定するため、「駕泊市街地まちづくり協議会」や「役場まちづくりプロジェクト会議」を精力的に開催し、地域振興及び商店街の活性化のために町議会の皆様とも協議しながら、道々拡幅事業に係る建設計画等をより現実的、着実なものとして事業進展を図って参りたいと考えております。



下水道整備については、平成十五年三月末に鴛泊処理区の一部が供用開始され四年目を迎えますが、供用戸数八〇〇戸のうち五一七戸が公共下水道に接続となり、水洗化率は六十五%となっております。今年度も、水洗化普及のため個別訪問や回覧版等により補助金や貸付金制度のPRを積極的に行うとともに、下水道処理施設の良好な維持管理に努めて参りますし、鬼脇処理区については、過疎地域自立促進特別措置法に基づく知事代行指定を受け、平成十七年度から本工事に着手し、十九年度末供用開始の予定となっております。

簡易水道事業では、安定して良質な飲料水の供給を図るため水源池や配水池等の維持管理を継続的にしながら、老朽化した配水管に起因する断水事故防止改善に取り組みます。鴛泊水源池の一号・二号水源の湧水伏流量が少しずつ低下している状況にありましたので、昨年度三号水源開発を実施した結果、下部帯水層から予定水量以上の取水を確認することができましたので、地域住民に対する安定給水がより万全な体制となりました。

水道水の安定供給を図るためには配水池の遠隔監視システムの導入・更新は緊急の課題であるため、今年度から二ヶ年計画で新規導入は鴛泊配水池、老朽化した既設設備の更新は野塚配水池・旭浜配水池・鬼脇配水池を整備するため、詳細設計委託料、システム設置工事費を予算計上しており、トイレの水洗化や夏期間の観光客の入込みによる水道使用量の増加及び水道経営基盤の安定化に努めてまいります。

次に、防災及び交通安全対策についてですが、昨年は、国内外において多くの自然災害が起こり、

災害対策の大切さを再認識した一年でもありました。そこで、防災対策として等高線が入った緊急避難防災マップを作成し各自治会へ配布します。また、避難所において必要となる毛布やマット、簡易トイレや災害多人数用救急箱などの各種防災非難用品を購入し、併せてそれらを収納する防災備蓄倉庫を鴛泊・鬼脇地区に配備いたします。

交通安全については、昨年痛ましい死亡事故が発生し、事故死ゼロの記録も五四六日でストップする残念な結果となりましたが、全道では十四年ぶりに交通事故死ワーストワンを返上したことは明るい話題であり、「交通安全は家庭から」をスローガンとして、今後も関係機関・団体との連携を密にし、町民皆様のご協力をいただきながら、息の長い交通安全・防犯意識の啓発に努めて参ります。

#### 第四 みんなで創る 希望あふれるまちづくり

町民との「協働」によるまちづくりを進めていくためには、町の保有する情報を広く町民に提供し共有するなかで、町民参加による

町政を推進していくことが重要であります。

町が抱える様々な課題や問題点を町民の皆さんと共に考え、町の進むべき方向を決定していくためにも、あらゆる分野で住民参画の拡充を図っていくことが重要であり、政策の決定過程や評価過程などにおいて、より多くの町民の皆さんに参画いただき、町民との「協働」によるまちづくりを進めなければ地域の活力は生まれてくるものでないと思っております。そのためには、町民の皆さんと直接膝を交え意見交換しあう地域懇談会の開催など、機会の拡充に努めて参ります。

町村合併の問題では、現下の市町村を取り巻く環境は過疎化、少子高齢化の進展に加えて地域経済の活力の低下など厳しい状況にあり、地方分権の受皿、厳しい財政状況を考えても市町村合併は真剣に検討しなければならぬ大きな課題であると思っております。

先般「北海道市町村合併推進審議会」においての「クラスト分析」の結果が公表されました。クラスト分析の指標は①住民活動、②行政活動、③地域の産業経済、

平成十八年度は、国の「三位一体の改革」の動きを注視しながら、主要財源である地方交付税は本町の基準財政需要額の特性などを考慮し、平成十七年度算定額から六・五％を減じた額で計上し、また、特殊財政需要に応じて交付される特別交付税については、離島漁業再生支援交付金や離島航路住民割引の町負担分に対する措置として、一千万円の増が見込まれますが、交付税の振替措置として発行され

## 第五 効率的な行政運営と健全財政のまちづくり

④地勢的特性の四つの要素を踏まえたものであり、本町は結びつきが強い町村として利尻町及び礼文町ということはご承知のとおりであります。

クラスター分析とは、住民の日常生活や経済活動、行政サービスの提供など市町村の結びつきを客観的、定量的に分析し、一体性、類似性の傾向を把握するための手法であり、統計的な分析手法であり、この結果を参考にしながら周辺町村との話し合いの場を持つことができないか検討しなければならぬと考えています。

平成十八年度は、国の「三位一体の改革」の動きを注視しながら、主要財源である地方交付税は本町の基準財政需要額の特性などを考慮し、平成十七年度算定額から六・五％を減じた額で計上し、また、特殊財政需要に応じて交付される特別交付税については、離島漁業再生支援交付金や離島航路住民割引の町負担分に対する措置として、一千万円の増が見込まれますが、交付税の振替措置として発行され

る臨時財政対策債の一〇％減額や、税収の落ち込みなどによる歳入財源が減少する厳しい状況のなかで、予算編成作業を進めたところであります。

一般会計では、ますます厳しさを増す財政状況を想定し、事業の緊急度や必要性について検討を加えながら予算化を図ったところですが、財源不足額をすべて解消するに至らず、不足財源については基金から総額九千万円の取り崩しを行うことにより、予算総額を平成十七年度対比で九・八％減の三十八億三千五百万円とする予算案を定めたところであります。

そのなかにあつて一部事務組合負担金については、千八百二十三万九千円減の四億五千二百八十五万四千円の予算化を行い、運営にかかる所要の経費を予算計上したところであります。

また、簡易水道事業を除く各特別会計においては、一般会計からの繰入金で収支の均衡を保っており、その額は前年度より二千二百六十一万円増の三億八千七百九万四千円を予算計上いたしました。

その結果、特別会計の合計は二十四億九千五百三十六万五千円で、

■平成18年度 主な建設事業

単位：千円

款	事業名	事業費
総務費	財務会計システム整備費	9,151
	地籍調査事業	13,000
	町有施設下水道接続関連工事	5,390
	杵形仙法志鷺泊線交付金(雪)工事移転・用地補償費	25,000
	自治会館整備事業補助金	256
	計	52,797
農林水産業費	町有林保育事業	8,290
	湾内往田地先小規模治山工事	13,000
	離島漁業再生支援交付金	56,304
	計	77,594
商工費	北麓野営場トイレ補修工事	349
	計	349
土木費	自然休養林甘露水線改良工事	60,000
	鬼脇地区道路改良工事	50,000
	町道舗装補修工事	2,700
	除雪ドーザー購入費	23,520
	鷺泊市街地整備基本計画作成委託料	4,000
	直轄港湾負担金	150,000
	アメニティパーク整備工事	44,894
	第二見晴ヶ丘団地建設工事(基幹事業・提案事業)	177,941
	公営住宅補助事業積算業務委託料	504
	空港除雪ロータリー車購入事業	50,000
	飛行場標識施設補修工事	1,775
	飛行場滑走路補修工事	1,687
	計	567,021
消防費	防災避難用備蓄倉庫購入費	6,890
	総合防災情報システム購入費	4,913
	防災無線施設屋外局整備事業	4,473
	計	16,276
教育費	利尻小学校校舎修繕工事	1,135
	小学校校舎・教員住宅補修工事	1,500
	中学校校舎・教員住宅補修工事	1,000
	旭ヶ丘プール改修工事	709
	地域青少年会館ホームタンク取替工事	156
	計	4,500
	合計	718,537

一般会計予算と合わせた町の予算総額は、六十三億三千三十六万五千円で、平成十七年度当初予算対比では七・三％の減、額にして五億百七十二万五千円減の財政規模となっております。

このため、本年三月で一般職三名の退職についても補充せず、職員にとつては事務執行には厳しい状況にありますが、大課制によるメリットを生かし、創意・工夫を

重ねながら職員の資質の向上を図り、行政サービスの低下を最小限に抑えながら、地方公務員としての自覚と全体の奉仕者として与えられた職務に誠実を旨として、厳正に身を持するよう指導の徹底を図って参りますので、町議会議員の皆様そして町民皆様の一層のご理解とご指導、ご協力をお願い申し上げます。

私の町政執行方針といた

平成十八年度

利尻富士町

教育行政執行方針



白坂前教育長

今日、我が国においては、新しい時代を切り拓く、心

豊かでたくましい日本人の育成を目指し、画一と受け身から、自立と創造という基本的な理念のもとに、人間力向上のための教育改革が着実に進められており、学校教育及び社会教育においては、これまで以上にその教育機能を十分に発揮する事が求められております。また、国際化や情報化、環境問題など教育に与える影響が大きいことから、社会の変化に対応する教育を進め、変化の激しいこれらの社会をしなやかに生きていくことのできる人の育成を目指していかねばならないと思っております。学校においては、これまでの「画一と受け身」から「自立と創造へ」と教育が大きく転換する中で、一人一人が生涯にわたって学び続け

る意欲やそれぞれが持つ得意分野の伸長を図っていくことが大切であると考えます。

特に目まぐるしく進展する高度情報化社会の中で、日常生活にも普及が著しい、インターネットや携帯電話等による今まで考えられなかった新たな非行や犯罪が増加していることから、教育関係者のみならず、家庭、学校、地域総ての人たちの意識改革や責任ある実践が必要となっている時代でもあります。

利尻富士町教育委員会といたしましては町民一人一人が自ら学ぶ意欲を高めて、社会の変化やそれぞれの課題に柔軟に対応できる能力を培い、充実した人生を送ることができるよう、学校教育をはじめ芸術、文化、スポーツなどに至る生涯学習社会の構築を目指して、教育行政を推進してまいりたいと思っております。

それでは、平成十八年度の主要な施策について申し述べます。

一、学校教育の推進について

社会が大きく変化している中にあって、利尻富士町の教育がさらに発展していくためには、人材の育成がもつとも大切であります。

義務教育の目的は、一人一人の人格形成と国家や社会の育成ということに集約することができ、両者の調和のとれた教育を実施することが必要とされています。

このため、学校では、子ども達に「確かな学力」として基礎的な知識と技能と思考力、創造力などを育むとともに、「豊かな心」、「健やかな体」を培い、これらをバランスよく育成することが求められています。

学校では、子ども達が集団生活する中で、義務教育の目標が実現されるよう、その発達段階にに応じた教育内容について体系的に編成して提供し、組織的、計画的な教育を行うことを、その基本的な役割としている。そして、その役割を果たす上で、家庭や地域との連携、協力が大変重要となっている。

学力の向上をはじめとして子供達の健康な育成のためには、睡眠時間の確保や食生活の改善、家族とのふれあいの時間の確保など、生活習慣の改善も不可欠であるとも言われております。子ども育成の第一義的責任は家庭にあり、教育における保護者の責任を明確化することも必要であるとされています。



基礎的な知識、技能の育成、自ら考える力の育成とは対立的にとらえるのではなく、この両方を総合的に育成することが必要であります。これからの社会に於いては、自ら考え、頭の中で総合的に判断し、表現し、行動できる力を備えた自立した人間として育成することが今後益々重要となります。従って、基礎的な知識、技能を徹底して身に付けさせ、それを活用しながら自ら学び、自ら考えるなどの「確かな学力」を育成し「生きる力」を育むという基本的な考え方は、今後も引き続き重要であ

り、学校や教育関係者のみならず、家庭や地域社会にも理解していただきながら、子ども達が将来に向かって明るい夢と希望を持ち、自信を持って行動できるよう指導に努めてまいりたいと思います。

●**確かな学力を育てる教育の推進**  
 学ぶ意欲や知的好奇心を育て「確かな学力」を育成することは、学校教育の基本的な役割とされており、

子ども一人ひとりに学ぶ意欲を喚起させ、意識を高めさせることは学力の向上にとって最も根本的な課題でもあり、子ども達自らが勉強しようと思えば「勉強が楽しい」と感じさせることが何より大切なことでもあります。

基礎、基本を充実させるためにも勉強は子どもにとって大切であり、そのためには更なる学ぶ意欲を高める必要があります。

- 第一「知・徳・体のバランス」
  - 第二「やる気の起きる授業」
  - 第三「学習の重要性を認識させる」
  - 第四「学習習慣を身に付けさせる」
  - 第五「生徒指導の機能を生かす」
  - 第六「組織的に取り組むこと」
- 以上のことから確かな学力を育てる教育として、学校が「調和の

とれた学校運営」をしなければならならず、校長は、その理想や教育ビジョンを掲げ、教職員との意思疎通を図り、リーダーシップを発揮しなければならぬ。

このため、子ども一人ひとりの学習状況を適格に把握し、それを指導に生かすよう努めてまいりたいと思えます。

●**開かれた学校経営**

学校経営は、地域から様々な支援を得ることによって学校としての機能をより効果的に発揮できることから、家庭や地域社会と連携、協力し、開かれた学校経営を推進するとともに、教員も教育の専門職としての資質を高め、使命を自覚し、自らも地域から信頼される魅力ある開かれた学校づくりを進めることが課題となっております。

このため、学校として、保護者や地域住民の信頼にこたえ、子どもたちが安心して学ぶことができ、地域の豊かな自然や歴史、伝統、文化等を生かした教育活動の展開を進め、更に学校評議委員の活用したり、その取組について推進し、地域と学校が一体となった地域の特色を生かした学校経営に努力したいと思えます。



雪投げボランティア

●**教員の資質向上について**

地域に信頼される学校とするためには、教員の資質能力向上が益々求められております。「教育は人なり」と言われるように、直接学校教育に携わる教職員の果たす役割は極めて大きいものがあり、教職員一人ひとりが意識改革を行い、一丸となって切磋琢磨し、学校教育を進めることが大切であります。

教員として、自らが今日的な教育課題や学校の実態を踏まえて、授業研究を中心とした校内研究や教育研究会を通じて、教職員としての使命と専門性を高め、社会の変化に対応する教育を進めることが求められておりますので、子ども達の成長や教育に大きな影響力を持つ教職員が、更に実践的な指導力向上を図るためにも、研修、

研究の機会を増やし、得た力で、より生徒指導が充実されるよう指導、協議して参りたいと思えます。

●**特別支援教育の推進**

近年、小中学校において通常の学級に在籍している学習障害等の児童、生徒に対する適切な指導及び必要な支援が全国的、全道的にも課題となっている。

本町においても、この関係において小学校で二学級、中学校で一学級の計三学級となることから、障害のある児童生徒と障害のない児童生徒との交流や共同学習を更に積極的に進めることによつて、その相互理解を促進しなければならぬと考えております。

このため、各学校や教育委員会、関係機関等と連携して支援体制を強化するため本年度より「特別支援教育推進協議会」（仮称）を設置し、障害のある児童生徒の一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導及び必要な支援が行われるよう努力したいと思えます。

●**学校等の安全確保について**

今、全国的に少年による非行や犯罪が後を断たない中で、昨年の暮には、幼い命が突然に奪われる悲惨な事件が相次いで発生するな

ど、子ども達をめぐる世の中の状況は大きく様変わりしています。

学校や子ども達の通学路の監視を強化するなど、地域とも連携して子ども達の安全を確保しなければなりません。

この問題の解決のために、各学校ごとに通学路の安全点検、防犯教室の開催、登下校時における事故防止、地域住民の協力による学校安全ボランティアなど、検討実施したいと考えます。

また、学校内への不審者侵入防止対策としては、インターホンでの会話確認による安全対策等、緊急時に備えた訓練等の実施も含め、学校内外での事件事故の防止について指導して参りたいと思います。



●食育の推進について

子ども達が、自らの健康を保持増進していく事ができるよう、望ましい食習慣や食に関する自己管理能力を身に付けさせるため、学

校のみならず、家庭や地域などにおける食に関する指導の強化が求められています。

そのため、学校においては、食に関する指導及び学校給食管理を一体とした学校栄養教諭制度の導入により、職員を配置しなければなりません。本町の学校給食につきましても、利尻郡学校給食センターによる共同調理場方式となっている関係上、本年度中に免許取得のための認定講習をうけ、次年度以降正式に学校栄養教諭として近隣の学校に配置し、子ども達の食育関係の指導にもあたる予定となっております。

また、子ども達の健康指導とも合わせて、本年度は、養護教諭、保健師、各学校代表者による「健康づくり推進委員会」(仮称)を設置し、食育と合わせた指導について検討してまいりたいと思います。

二、幼稚園教育について

幼稚園教育は、幼児期の発達の特性に照らして、子供の自発的な活動としての「遊び」を重要視した学習として位置づけ、幼稚園の教育要領に従って教育課程を編成し、幼稚園教諭の援助によって、

適切な施設設備のもと組織的、計画的な指導を行うものであります。そこで幼稚園では、計画的に幼児の主體的な遊びを十分に確保しながら、生涯にわたる人間形成の基礎を培う教育を行っているところであります。



幼児は、身体感覚を多様な活動を経験することによって、豊かな感性を養うとともに、生涯にわたる学習意欲や学習態度の基礎となる好奇心や探求心を培い、小学校以降における教科の内容等について実感を伴って深く理解できることにつながる「学習の芽生え」を育んでいる。また、子供が成長し、自立する上で多様な体験、経験をすることが不可欠ですが、テレビゲームやインターネット等の室内

での遊びが増えるなど、偏った体験を余儀なくされている傾向にもあります。

幼児教育においては、教員の総合的な力量が必要とされ、子育てに関する保護者の多様で複雑な悩みを受け止め、適切なアドバイスができる力など、深い専門性も求められています。

以上のことから、幼稚園教育においては、幼児の発達の過程を見通し、具体的なねらい及び内容を設定して幼児の発達に必要な豊かな体験が得られるよう意図をもって保育を展開する必要があります。

また、自らも人間性を一層豊かにし、専門職として力量を高めていくよう様々な機会を通して研鑽に努め、地域や家庭との連携、幼保との連携、小学校との連携にも努め、信頼される幼稚園として運営、管理を行ってまいりたいと思います。

三、生涯学習について

二十一世紀において、明るく豊かな未来を切り拓いていくためには、あらゆる人々が、いつでも、どこでも生涯学習に取り組むことができるような環境を整え、町民

一人ひとりの資質、能力の向上を通して、社会全体の活性化を図っていくことが極めて重要なことでもあります。

生涯学習は、「人々が生涯のいつでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適正に評価される」ような「生涯学習社会」の実現を目指すことを共通認識とし、学校教育、家庭教育、社会教育など人の生涯を通じた幅広い学習機会の場で行われるものであります。

これらのことから利尻富士町の生涯学習を推進するため、利尻富士町生涯学習推進計画にある、個人、家庭、学校、地域のそれぞれにおいて自らの個性を生かしながら、それぞれの個性を尊重し、町民一人ひとりが持つ特性や知識、技術などを社会の中で活用していく場を持たせるよう考え、それぞれが社会全体において充実感、存在感を味わい、活力ある町づくりの創造につなげたいと思います。

● **社会教育**

近年の社会情勢やライフスタイルの変化に伴って、町民一人ひとりの生活環境にも大きな変化が現われてきております。これに対応

する町民の学習要求も多様化しているとともに、自己実現の要求も一層高まってきております。

このため、人材バンクに登録されている方々にも協力していただきながら地域のニーズに 대응するため、施設の開放やサークル等への講師として派遣し、それぞれの活動を更に活発なものとしていきたいと

考えます。

公民館運営関係については、特定な世代の人だけではなく、若者を含むあらゆる層の学習者の多様なニーズに対応し、人間的価値の追求と職業的な知識、技術の習得の実現に資するようにすることが必要とされており、誰でも、いつでも、どこでも学べるように、また地域の中核的な施設として、利用しやすい施設として運営管理を行ってまいりたいと思います。



公民館でのイベント

● **文化、芸術について**

町民一人ひとりが心豊かでうるおいのある生活を営むため、芸術や文化への関心や意欲をより高めて、創造性あふれる多様な文化活動を支援するとともに、心豊かな感性を高めるために、文化協会やサークルなどの自主的活動に対して、積極的な支援に努めてまいりたいと思います。

このほか、利尻富士町の伝統文化、歴史の関係においては、町内外にある資料について関係機関や個人を通じて収集・調査し、それらの資料をもとに学芸員による出前講座や展示会、教室などを含め、学校での公開や地域での公開を通して、町民の皆様への還元を図っていきたくと考えております。

● **スポーツの振興について**

スポーツは人間の心と体の健全な発達を促すとともに、生涯にわたって明るく豊かに活力に満ちた、生きがいのある社会の形成に大きく寄与するものであり、町民の一人ひとりが心身共に健やかな生活をおくるためにも生涯学習とともに生涯スポーツの振興は重要であります。

スポーツの振興にあたっては、

町民誰もが参加できるスポーツ事業の推進と指導者の育成、既存スポーツの充実を図り、より地域に根ざした各種体育事業の推進にも努めてまいりたいと思います。

また、体育協会を中心としてスポーツ団体との連携を強めて、体育指導員等による技術の向上を図りながら、町民が気軽に参加できるスポーツ及びレクリエーションの普及にも取り組む、町民の健康増進と生涯スポーツの充実にも努めてまいりたいと思います。



水泳教室

利尻富士町教育委員会といたしましては、子ども達が明るく夢と希望にあふれ、新しい時代に向かってたくましく成長されるよう、町民の皆様とともに、本町教育の充実、発展に努めてまいりたいと存じますので議員の皆様方をはじめ町民各位の御理解と御協力を心からお願い申し上げます。

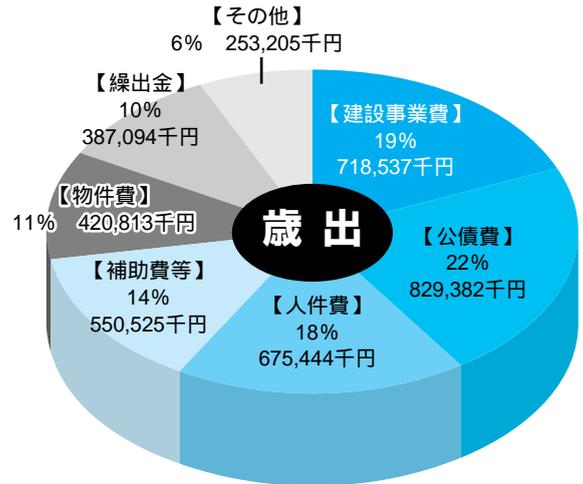
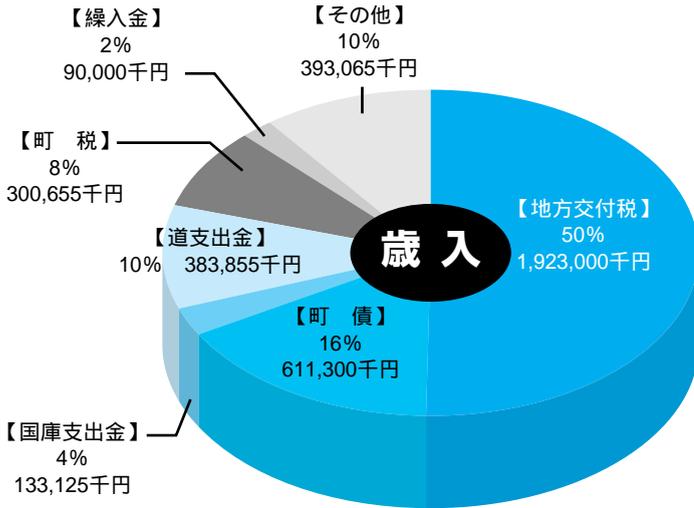


一般会計の歳入・歳出予算額は...

# 38億3,500万円

平成18年度の当初予算額は、前年度比9.8%の減となっております。特別会計の合計24億9,537万円と合わせた町の予算総額は63億3,037万円で、平成17年度当初予算と比較すると、7.3%(5億172万円)の減額となります。

平成十八年度の  
**予算概要**  
をお知らせします。



### ■特別会計予算は

単位：千円

	平成18年度	平成17年度	比較
簡易水道事業特別会計	143,141	140,071	2.2%
下水道事業特別会計	426,567	449,205	△ 5.0%
港湾整備事業特別会計	5,961	5,998	△ 0.6%
温泉事業特別会計	133,149	157,563	△ 15.5%
国保事業特別会計	395,000	385,442	2.5%
老人保健特別会計	476,133	485,527	△ 1.9%
介護保険事業特別会計	311,461	327,897	△ 5.0%
介護サービス特別会計	473,874	474,495	△ 0.1%
歯科施設特別会計	39,187	42,343	△ 7.5%
国保施設特別会計	90,892	113,549	△ 2.0%
<b>合計</b>	<b>2,495,365</b>	<b>2,582,090</b>	<b>△ 3.4%</b>

### ■目的別歳出予算

単位：千円

科目	予算額
議会費	48,733
総務費	409,646
民生費	403,642
衛生費	353,980
労働費	162
農林水産業費	130,280
商工費	217,957
土木費	987,771
消防費	180,210
教育費	266,411
公債費	829,382
災害復旧費	1
諸支出金	3,825
予備費	3,000
<b>合計</b>	<b>3,835,000</b>

# 役場の業務分担

既に行政改革による機構改革に伴い、四課となったこととはお知らせしていますが、「どの課に?どの係に?」電話で聞いたり、行けばいいのかわからない」という方も多いと思いますので、ご紹介いたします。

## 【総務係】

自治会・情報公開  
職員給与・選挙  
庁舎管理・自衛官  
公平委員会  
町村会・陳情等

### 総務課



## 【財政係】

町財政計画・町債  
予算の編成、執行  
辺地総合整備計画  
地方交付税  
一時借入金等

## 【行革推進係】

行財政改革・  
地方分権・道州制  
権限移譲・  
支庁制度改革  
市町村合併

## 【企画調整係】

総合計画・広報  
情報化・災害対策  
防災・山岳救助  
交通安全・防犯  
交通対策・統計等

## 【出納係】

予算の収支・決算  
現金の出納・保管  
物品の出納・保管

## 【税務係】

法定普通税・  
国保税の賦課、徴収等  
固定資産の評価  
土地・家屋台帳  
納税貯蓄組合等

### 税務 会計課



## 【福祉介護係】

生活保護・保育所・  
児童、老人福祉・  
母子、障害者福祉・  
介護保険事業計画  
保険給付等

### 福祉課



## 【すこやか保健係】

伝染病等予防  
母子保健・栄養対策  
歯科保健・介護支援  
生活習慣対策等・  
健康づくり等

## 【国保衛生住民係】

戸籍・住民登録  
埋火葬・児童手当  
国民年金・国保  
老人保健・  
医療給付事務・  
火葬場等

## 【水産港政係】

漁場造成・種苗放流  
後継者育成、確保・  
港湾、漁港計画、管理・  
船揚場管理、整備  
漁船上架施設等

## 【まちづくり係】

鷺泊市街地まちづくり・  
町有財産設置等・  
道道用地取得、  
町営住宅設置・管理等  
維持管理・地籍・登記等

## 【上下水道係】

水道施設の管理、計画・  
水道料金等賦課、徴収・  
下水道事業計画、調査・  
下水道施設設計、実施・  
下水道使用料  
賦課徴収等

### 産業 建設課

## 【商工観光係】

商工業、観光の振興  
観光施設の管理  
温泉・雇用保険  
自然保護・公園管理  
物価、消費者対策等

## 【建設農林係】

道路、橋、河川  
町有建築物の計画、  
施工・除雪対策  
農林業・治山事業  
山火事予消防等



## こんにちは保健師です

4月から介護保険制度が変わり、介護保険を利用する以前の「介護予防」の段階が重視されるようになりました。

介護予防とは、できる限り要介護状態にならないようにする、たとえ要介護状態になってもそれ以上悪化しないようにする取り組みです。

いくつになっても自分らしく生き生きと暮らしていきたいとは誰もが思うことですが、実際は身体やこころが弱ってきて、歳だから仕方ない...で済ませてしまっている方が多いのではないのでしょうか。

そこで保健センター内の介護部門を担当していた在宅介護支援センターが、4月から地域包括支援センターに名称を変え、機能を強化し保健医療福祉の垣根を越えて、町民の皆さんが生き生きと自分らしく暮らしていけるお手伝いができればと考えています。どんなことでも、お気軽に声をかけてくださいね！

### ～地域の高齢者への総合的な支援～

介護予防の相談や  
介護予防ケアプランの策定

虐待の防止や権利擁護の  
ための必要な援助



役場やサービス事業者、  
地域の様々な委員との  
連絡、調整

介護保険だけでなく、  
様々な制度や地域資源を  
利用した総合的な相談・支援

### こんな時、ご相談ください！

- ☆足腰が弱ってきたみたい。
- ☆なんだか元気が出ないなあ…。
- ☆健康上の不安がある。
- ☆家族が忘れっぽくなってきた…。
- ☆デイサービス・リハビリに通いたい。
- ☆秀峰園、老健に入りたい。
- ☆この相談どこにすればいいの？
- ☆介護保険の申請をしたい。

などなど

### 地域包括支援センター

電話 82-2320



保健師(介護支援専門員)  
関 いづみ

相談員  
小松 かつ子

**わがまち  
タイムスりっぷ**

**連載 ~世紀の金環(きんかん)日食観測~**

今回は、昭和23年5月9日に礼文島 <sup>きとうす</sup>起登臼で観測された金環日食の話題です。

日食とは、月が太陽を隠す現象で、「太陽 - 月 - 地球」と並んだ際に月の影に地球が入ると、地上からは太陽が月の陰に隠れて見えなくなります。

また、月の周りに明るい太陽がリング状にはみ出して見えることを「金環」といいます。

当時、礼文島は金環日食が観測できるコースに入っていて、なかでも起登臼が観測に最適な場所として注目されたのです。観測隊には、東京天文台や京都大、東北大などをはじめ、アメリカ観測隊も訪れ日米共同観測所を設置しました。また、新聞社や映画社、アマチュアも挙って集まりました。

当日の天候は晴れ、利尻山もくっきり見えるなか、金環は11時50分35秒に始まってわずか2秒で終わりましたが、世紀の観測に興奮冷めやらぬといったところだったのでしょうか。

その興奮は、ちょうどニシンが獲れていた春に、島民もその手を休め、子どもから大人まで空を見上げる場面を写した写真からもうかがえます。

今回紹介した写真は、79枚の写真が収められたアルバムに入っていたもので、稚内市に贈られ、現在市立図書館で所蔵しているものです。

ちなみに、利尻島では、明治29年に山頂で皆既日食を観測した記録がスケッチとともに残されています。今回の記事について、情報や資料などありましたら教育委員会山谷（電話 82 - 1370）までご連絡下さい。



京都大学の観測班



観測する礼文島民



11時50分37秒の金環蝕太陽

**一戸収入役**

**白坂教育長が退任**

平成十八年三月三十一日、一戸収入役と、白坂教育長が退任されました。長い間本当にご苦労様でした。

**新教育長に**

**石川武弘氏**

この四月一日より、白坂前教育長の後任として、石川前総務課長が新教育長に選任されました。



**全国一斉「人権擁護の日」**

**特設相談所開設します！**

架空請求、育児の悩み、近隣との争い家庭内トラブル（夫婦・離婚・扶養・相続）学校での「いじめ・体罰」等多岐の相談に応じます。相談内容については、堅く守られます。難しい手続もなく、相談料は無料ですので、どうぞお気軽にお越しください。

**■特設相談所開設日程**

日時 平成十八年六月一日（木）

午前10時～午後三時まで

場所 利尻島開発総合センター

**■町内の人権擁護委員をご紹介します。**

俵谷芳光、佐藤千恵子



はせがわ まほ  
**長谷川 茉穂**ちゃん  
H17. 9. 10生  
【両親】満・志津香  
【住所】栄町1

# ベビートーク

～2人の元気な赤ちゃんを紹介するよ！～

こんにちは、茉穂です。  
頭も大きいし、よく男の子に間違われるけど、女の子なのよ！  
私は、お風呂が大好きだから、もし温泉で見かけたら声をかけてね。そしたらにっこり笑ってご挨拶するから、よろしくね！！

こんにちは結衣です。  
よくお父さんに間違われて「ゆっき」って呼ばれます。(笑)そんな私が今一番好きなのが、お母さんとセイコマです。セイコマに行くとなぜか笑ってしまう私ですが、見かけたら、ぜひ声をかけてくださいね！！



まえだ ゆい  
**前田 結衣**ちゃん  
H17. 9. 29生  
【両親】幸久・知美  
【住所】栄町1

## 戸籍の窓口

### ★お誕生おめでとうございます★

氏名	月日	保護者	続柄	住所
高橋 しずく(しずく)	12.16	利男・留美子	長女	栄町2
中畑 歩乃果(ほのか)	1. 9	伸昭・絵里	長女	雄忠志内
今 龍 樹(たつき)	2. 7	幸宏・美香	二男	栄町1
菅原 寧々(ねね)	2. 7	篤・智美	長女	栄町2
下江 颯太(そうた)	3.23	孝造・結花	長男	栄町2

### ♥ご結婚おめでとうございます♥

月日	氏名	住所
12.24	木村 隆彦(鬼脇) 飯田 実穂(鬼脇)	
2.14	尾上 旭(清川) 上田あかね(清川)	
3.31	飯田 直輝(鬼脇) 泉 希(利尻町)	

### ◆お悔やみ申しあげます◆

氏名	月日	年齢	住所	氏名	月日	年齢	住所
常名 菊江	12. 6	94歳	金崎	岩垣美佐子	1. 24	53歳	本泊
吉田八重子	12. 9	71歳	港町	榎木 良雄	1. 25	60歳	鬼脇
高橋 武夫	12.14	88歳	野塚	中野幸次郎	2. 1	84歳	富士岬
笠井 庄一	12.16	98歳	鬼脇	南 又男	2. 2	89歳	鬼脇
高橋 正幸	12.18	48歳	沼浦	梅谷 キク	3. 7	96歳	本町
橋本 ナミ	12.19	82歳	鬼脇	清野ハツエ	3. 8	78歳	本泊
佐々木武雄	12.24	80歳	金崎	佐藤 金一	3.23	79歳	鬼脇
鎌田 哲雄	12.30	77歳	金崎	三浦ヨシエ	3.30	93歳	本泊

## 警察官ご紹介



鴛泊駐在所  
**土屋 淳二**

この度、春の人事異動で「ワインの町」池田町から鴛泊駐在所に着任しました土屋淳二です。  
きれいな海と山、すばらしい自然環境の中で勤務できることを嬉しく思い、早く島の生活に慣れ、治安維持に貢献できればと思っております。初めての駐在所勤務となりますが、よろしくお願いいたします。



鬼脇駐在所  
**山内 祐二**

札幌のど真ん中「すすきの」交番からやって来ました。私は年齢37歳、出身は札幌、家族は妻と子供2人で、警察官人生は19年目を迎えました。利尻島に来るのは公私とも初めてで、駐在所勤務も初めてと不安に感じることもありましたが、実際に島に来てみると、島の皆さんにあたたかく迎え入れて頂き安心しました。早く島に慣れ、島の皆さんのために良い仕事ができるよう頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

## 編集後記

利尻にも、暖かい日差しが照りはじめ、ようやく春の訪れを感じられる季節となりました。  
これからは、町も活気に溢れ、賑わいだし観光客も多くなることから、大型車輛等の通行量も増加しますので、交通安全には十分に気をつけて、事故のない安全なまちづくりにご協力ください。

## 交通事故死ゼロ回

# 264日

5月1日現在  
デイト運動  
実施中

## 人口のうごき (平成18年4月末現在)

	男	女	計	世帯
鴛泊	1,027	1,131	2,158	923
鬼脇	453	513	966	496
合計	1,480	1,644	3,124	1,419
昨年	△ 36	△ 7	△ 43	+ 6